



# ぎかいの窓

令和2年9月に行われた綾町議会の様子を覗いてみましょう…



漁協による保育所園児の鮎つかみどり

## 9月議会の主な内容

- 令和元年度決算 …………… P2～6
- 条例改正・令和2年度補正予算 …………… P7～10
- 8月臨時議会 …………… P12
- 一般質問 …………… P14～19

# 令和元年度決算の主な内容

## 農業費

### 二反野地区営農飲雑用水整備事業



安定的な水の供給のため老朽化した施設を更新しました。

## 土木費

### 綾城屋外トイレ整備工事



老朽化したトイレを建替え、観光施設の充実化を図りました。

### 立町公園整備工事



寄付いただいた用地を活用し、立町公園に植栽等を行いました。今後は歩道等が整備されます。

## 消防費

### 消防団第6部詰所新築工事



6部詰所を建替え、消防団活動の充実・強化を図りました。

### 防災行政無線デジタル化整備工事

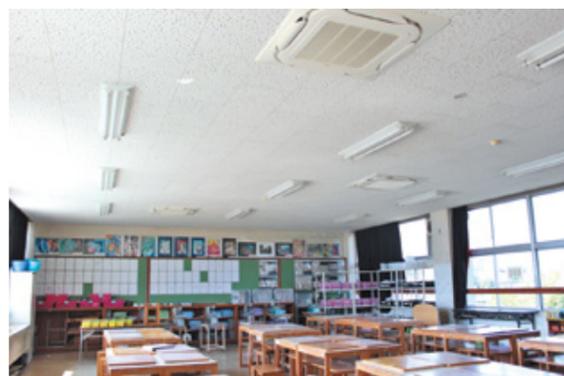
(平成29年度～令和元年度にかけて実施)



文字放送も可能なデジタル無線への更新を行いました。

## 教育費

### 中学校特別教室棟空調設備工事



快適な学習環境の整備を行いました。

## 決算概要

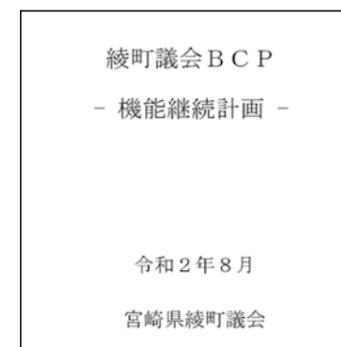
会計名	歳入	歳出	差引額	
一般会計	48億923万円	46億6,208万円	1億4,715万円	
国民健康保険特別会計	11億3,221万円	11億2,028万円	1,193万円	
後期高齢者医療特別会計	1億728万円	1億703万円	25万円	
介護保険特別会計	9億70万円	8億7,228万円	2,842万円	
農業集落排水事業特別会計	1,711万円	1,515万円	195万円	
公共下水道事業特別会計	1億804万円	1億754万円	50万円	
浄化槽事業特別会計	2,501万円	2,404万円	97万円	
水道事業会計	収益的収支	1億72万円	8,690万円	1,382万円
	資本的収支	8,810万円	1億2,243万円	▲3,433万円

★令和元年度のふるさと納税寄附額 … 3億1,500万円

## 新しいとりくみ

### 綾町議会 BCP(議会機能継続計画)

大規模災害(台風・地震・感染症など)の非常時においても、町民の安心・安全のために議会として迅速な意思決定及び多様な町民ニーズに対応すべく、議会の組織体制や議員の行動基準などを定めた「綾町議会 BCP」を策定しました。



### 綾町議会 各公民館役員との意見交換会

議会議員と公民館役員のみなさまとの意見交換会を、実施希望のありました公民館を対象に9月から行っています。



## 認定第1号 一般会計決算

■ 歳入総額: 48億923万円 ■ 歳出総額: 46億6,208万円

歳入は、ふるさと納税寄附金の減少等により前年度比5.72%減少。  
歳出は、ふるさと納税事業や大型公共工事の減少等により前年度比5.45%減少。実質収支は、前年度比2,113万円減少したが、1億2,715万円の黒字となった。経常収支比率は、前年度より0.1%減少し95.0%となったが、依然として高い水準にあり、財政構造の慢性的な硬直化がみられる。

**反** (橋本) 多くの住民要求にこたえていない。特に生活保護申請は国民の権利。申請書は窓口に着くこと。ゴミ収集の回数増、せめて燃えるゴミは週2回に増やしてほしい。古い町営住宅の補修や、トイレの水洗化に取り組むこと。町長自ら古い町営住宅に出向き、現場を見て住民の声を聴いてほしい。

**賛** (青木) 生ゴミの堆肥化は循環型社会になっておらず、採算面、活用状況など現実を直視すべき。森林づくり推進事業は増員せずに継続できないか。旧総合基金問題は司法判断を求めないそうだが、猛省を求め。農業支援センター生産部門はわずか2人だ。ビジョンがない。綾まちづくりは実際に行動する人がいるのかが重要だ。

**賛** (松本) 数値的な結果としては賛成する。しかし、前町長の流れを単純に踏襲しただけで、新町長として新たなビジョンも明確に示さず、根拠に乏しい公約にこだわり、未来に向けた建設的かつ前向きな議論をしようとせず、「町民が真ん中」という言葉だけを無意味に繰り返すばかりで、中身や行動が伴わなかった9か月間の結果である。

**賛** (兒玉) 消防団員の確保は重大である。年齢制限の撤廃を含め、出勤手当の見直し時期と思う。農業支援センター実習生のハウス胡瓜事業は積極的に実施して、高齢化や後継者不足等による空きハウスの支援に取り組むべき。道路美事業は交通安全や観光事業や町民生活上、最も重要であり、計画的に続行を願う。活性化協会の運営費は引き続き圧縮に取り組むべき。

## 認定第2号 国民健康保険特別会計決算

■ 歳入総額: 11億3,221万円 ■ 歳出総額: 11億2,028万円  
■ 歳入歳出差額: 1,193万円

**反** (橋本) 平成30年度から県も保険者になったが、国保税は払う気があっても払えないほど高いまま。滞納すると1年間有効の保険証は交付されず、資格者証だと10割自己負担だ。若く収入があるときは社保で、退職すると国保に入る。一般会計から繰り入れは不公平ではない。多くの自治体が繰り入れている。綾町も実現を。

## 認定第3号 後期高齢者医療保険特別会計決算

■ 歳入総額: 1億728万円 ■ 歳出総額: 1億703万円  
■ 歳入歳出差額: 25万円

**反** (橋本) 県統一の広域連合で運営されており、広域連合議会に議員を出していない綾町では、75歳以上の医療制度の中身はほとんどわからない。広域連合議会は年2回議会を開くが、質疑なし、討論なし、異議なしと一回15分程度で終了。欠席も多い。高齢者を大事にする制度ではない。窓口2割負担も検討されている。

## 認定第4号 介護保険特別会計決算

■ 歳入総額: 9億70万円 ■ 歳出総額: 8億7,228万円  
■ 歳入歳出差額: 2,842万円

**反** (橋本) 65歳以上の被保険者は2,602人。納めた介護保険料は、約1億5,796万円。認定者は要支援も入れて401人、15.4%。サービスを受けていない人の約85%が制度利用なしでこの負担額。来年度からは第8期事業になる。保険料の値上げは必至。制度は行き詰まり、介護労働者の負担も深刻。自治体から国へ声を上げることが重要。

## 認定第5号 農業集落排水事業特別会計

■ 歳入総額: 1,710万円 ■ 歳出総額: 1,515万円  
■ 歳入歳出差額: 195万円

加入状況は、公共施設と事業所が各2か所、一般家庭が48戸で前年度と同じ。使用料の現年度分収納率は、99.8%と前年度より0.4%改善した。滞納繰越分の収納率は、前年度と同じ100%。



## 認定第6号 公共下水道事業特別会計

■ 歳入総額: 1億804万円 ■ 歳出総額: 1億754万円  
 ■ 歳入歳出差額: 50万円

加入状況は、公共施設が4か所増加し39か所、一般家庭が62戸増加し1,185戸。使用料の現年度分収納率は、96.1%と前年度より0.7%悪化した。滞納繰越分収納率は、20.5%と前年度より12.8%改善した。

**反** (橋本) 予算時に下水道事業民間委託の話があり、予算に反対した。生活雑排水の処理は大事なことだ。合併浄化槽区域との平等性や加入を無理強いしないことも含め自治体責任で運営すべき。

## 認定第7号 浄化槽事業特別会計決算

■ 歳入総額: 2,501万円 ■ 歳出総額: 2,404万円  
 ■ 歳入歳出差額: 97万円

浄化槽設置数は、5人槽が10基。使用料の収納率は前年と同じ100%。

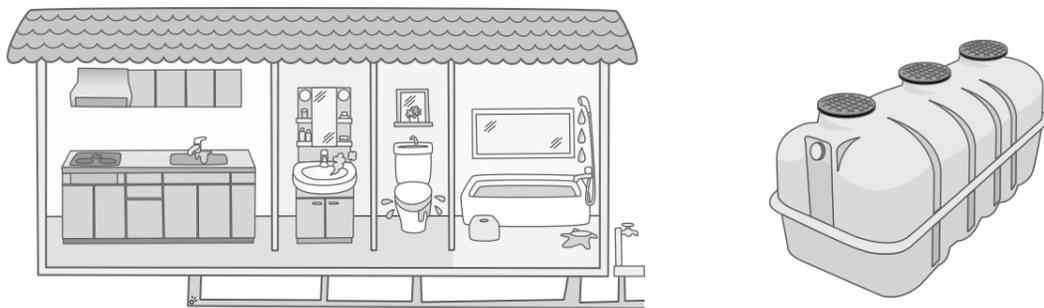
## 認定第8号 水道事業会計決算

■ 営業利益: 1,088万円 ■ 経常利益: 590万円  
 ■ 純利益: 605万円

前年度比で給水人口及び配水量は減少したが、漏水工事費や基本計画策定委託費の計上が減少したことから黒字決算となった。前年度は808万円の赤字。

**反** (橋本) 水道料金への消費税転嫁は認められない。

**賛** (青木) 実質的残金は、3千万円程度で厳しい状況だ。宮崎市より安い料金だが、5年スパンで10%以上の値上げが必要との事。老朽化による水道管等の更新は20億円を上回り背筋が寒くなる。町民への現状及び将来像をわかりやすく今から説明すべき。



# 条例の改正

## 賛成討論・反対討論

賛 = 賛成討論 反 = 反対討論

### 議案第41号 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症から町民等の生命及び健康を守るための防疫作業に従事した場合、特殊勤務手当を支給する規定を追加。

### 議案第42号 綾町手数料条例の一部を改正する条例

マイナンバー法の改正が令和2年5月25日に施行されたことに伴い、マイナンバーの通知を「通知カード」によらないことになった。今後「通知カード」の再発行業務が発生しないため、再発行手数料の規定を削除。

**賛** (松本) 政府は行政のデジタル化、即ち役所に行かなくても手続きができる社会の実現を目指しており、そのカギとなるのがマイナンバーカードである。そのメリットや課題について、町民に対する正確かつ丁寧な情報提供を望む。

**賛** (橋本) 個人番号通知カードの再発行中止に伴う改正には賛成だが、国がマイナンバーカードを作らせようと、この1か月で27億円もの宣伝料を使っている。強制的に作らせようとするのは問題だ。

### 議案第43号 綾町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

主任介護支援専門員確保が著しく困難である場合、介護支援専門員を管理者とすることが出来る。令和9年3月31日まで。

**賛** (橋本) 主任ケアマネージャーの人手不足を、条件緩和の期間をさらに6年間延長することで乗り切る国のご都合主義的手法だが、綾町では4事業所すべてに主任ケアマネが居り、問題はない。主任ケアマネ有資格者を正當に評価する制度の改善が必要。



### 議案第44号 令和2年度一般会計補正予算（第5号）

■補正額：3億3,912万円 ■補正後予算：59億6,909万円

#### 【主な内容】

- ・新型コロナウイルス感染症対策関連（プレミアム商品券発行事業ほか）
- ・財政調整基金積立 ・活性化協会関連 ・災害復旧事業
- ・保育所等整備事業 ・ふるさと綾サポート基金積立 ほか

**賛**（青木）綾川荘等の赤字予想による3か月間休業は現場の努力を無視し、また従業員への当初の休業補償は「町民まん中」の政策に大いに反する。民間業者への管理運営の委託に関する情報の開示及び説明を求める。町の機構改革（検討中）は従来の形にとらわれずに、柔軟、大胆に考えてほしい。

**賛**（橋本）スーパーワンコインパスは綾町議会の議決前に宮交のホームページに載るといふ議会軽視の手法だった。町民に知らせる時間的余裕がないなら議会開会日にこの予算案だけ議決するか8月の臨時議会に提案するなど方法はあったはず。おでかけバスカ（100円バス）はその後75歳に達した町民は町内で手続きできず、不公平だ。準備期間に検討していないのは執行部の落ち度。

**賛**（兒玉）新型コロナウイルス感染症予防対策として、小中学校を含む公共施設に手洗自動水栓化やトイレにセンサー式照明・換気装置の設置。プレミアム付商品券は完売すべき。旧北俣保育所の再利用については高齢者が利用するので、バリアフリー化や利用者に向けた改善をすべき。町出身大学生等の支援事業は1人でも多くの学生に支援が届くように工夫をすべき。

**賛**（松本）主にコロナ感染症対策に関わるものであり賛成する。ただ、県内26市町村中で綾町だけがコロナ臨時交付金に残高があると新聞に掲載されたが、目前で起こっている緊急事態に迅速かつ適切に対応できていないとも言える。今後、国からの財政支援策において交付金が減額されることにならないようにすべき。

### 議案第45号 令和2年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

■補正額：1,274万円 ■補正後予算：11億5,660万円

#### 【主な内容】

新型コロナウイルス感染症の影響による保険税の減免申請が見込まれる為。

### 議案第46号 令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

■補正額：142万円 ■補正後予算：1億1,706万円

#### 【主な内容】

職員の時間外勤務超過による増額補正。

### 議案第47号 令和2年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

■補正額：2,789万円 ■補正後予算：9億3,579万円

#### 【主な内容】

前年度決算による繰越金の補正。

### 議案第48号 令和2年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

■補正額：145万円 ■補正後予算：2,159万円

#### 【主な内容】

歳入（繰越金）：145万円 歳出（予備費）：145万円

### 議案第49号 令和2年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

■補正額：1,150万円 ■補正後予算：1億3,550万円

#### 【主な内容】

歳入（町債）：1,170万円 歳出（下水道事業費）：1,154万円



### 議案第50号 令和2年度浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)

■補正額:77万円 ■補正後予算:4,432万円

#### 【主な内容】

歳入(繰越金):77万円 歳出(予備費):77万円

**反** (青木)何回か提案しているが、町負担を少なくするためにも、浄化槽の設置は1回限りの補助金制度に変えるべきである。県内3自治体しか行っていない。

**賛** (橋本)合併浄化槽事業の見直しを求める討論があった。この事業は公共下水道事業地域との住み分けで取り組まれた事業だ。1世帯当たりの経費で言えば、公共下水道事業より大幅に少ない。公平性からして町の責任で運営すべき。

### 議案第51号 令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

■未処分利益剰余金:1億992万円  
■減債積立金への積立額(処分量):310万円  
■処分後残高:1億682万円

### 議案第52号 財産の取得について

小・中学校児童・生徒用にタブレット型コンピュータ587台の購入  
(小学校422台、中学校165台)  
取得価格:5,445万円(うち消費税495万円)

## 人事

### 諮問第1号 人権擁護委員

(敬称略)

<再任>谷口 秀典(西中坪)  
任期:令和3年1月1日~令和5年12月31日

## 意見書

### 意見書案第3号 新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う 地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

福祉・教育・防災等の各種財政需要に加え、長期化する感染症への対策を実施するに当たり、国における令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向けた適切な対応を強く求める。

### 意見書案第4号 教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度 拡充に係る意見書

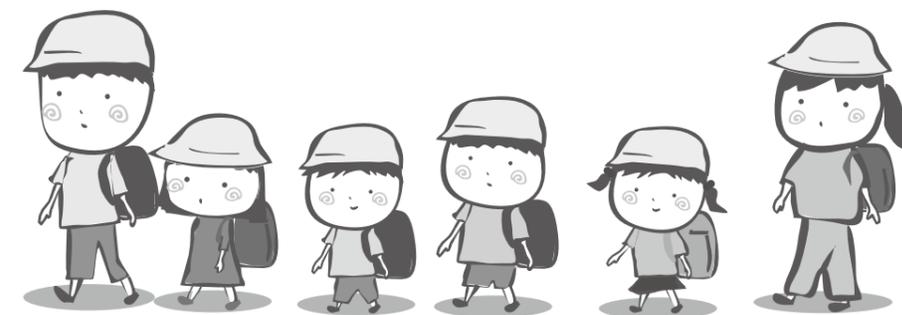
義務教育費国庫負担制度については、三位一体改革により負担割合が2分の1から3分の1に引下げられた。自治体間の教育格差は大きな問題。子どもたちが全国どこに住んでも一定の水準の教育を受けられることが憲法上の要請だ。その上、新型コロナウイルス感染症対策で教職員は不断の努力を続けている。下記事項を強く求める。

- ①計画的な教職員定数改善を推進すること。
- ②教育の機会均等と水中の維持向上を図るため、義務教育国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

### 意見書案第5号 綾北川小田爪橋及び小田爪左岸の整備を求める 意見書

小田爪地区住民、綾町民の生命と財産を守るために、下記事項を強く求める。

- ①小田爪橋の早期の架け替え又は増幅等の改良をすること
- ②綾北川小田爪左岸に堤防を早期に築造すること



# 陳情

## 陳情第1号 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請について

少人数で目が届く一定水準の教育が受けられるよう、30人以下学級の実現は必要。義務教育国庫負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられ自治体の財政を圧迫している。2分の1復元要請を求めるもの。

## 陳情第2号 地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書

受動喫煙を望まない人と喫煙者が共存できる社会を実現するために、地方たばこ税の一部を活用して、公共施設における分煙環境の整備を求めるもの。

**反** (松本)綾町においても4,100万円の税収はあるが、一方で喫煙が健康に悪影響を及ぼすことは多くの人知っている。また、分煙環境を整備しても、たばこは煙だけでなく臭いでも他人を不快にさせる。加えて、アルコール飲料に課されている酒税が、本陳情と同じ趣旨で活用されていることもない。

## 陳情第3号 綾北川小田爪橋及び小田爪左岸の整備を求める陳情書

小田爪地区住民はもとより綾町民の生命と財産を守るため、小田爪橋の拡幅及び綾北川小田爪左岸の築堤を求めるもの。

# 8月臨時議会

## 議案第40号 令和2年度一般会計補正予算(第4号)

■補正額:9,676万円 ■補正後予算:56億2,997万円  
・新型コロナウイルス感染症対策関連(小中学校タブレット端末等整備ほか)

**賛** (橋本)まだ支援の届いていない町民も多く、コロナ禍で暮らしの窮状を表に出せないでいます。休業を強いられている町民もいるが救済の対象になっていない。学生への支援策もまだだ。まずPCR検査を「誰でもいつでも何回でも」受けられるような体制充実と、少人数学級実現を求め討論とします。

**賛** (松本)コロナウイルス感染症とは長い闘いが続くと思われる。また、誰でも感染する危険性があるため、きめ細やかな政策を緊張感を持って迅速に対応して欲しい。加えて、二元代表制の趣旨に基づき、議会に対しての丁寧な説明をすることに加えて、議会と共にこの難局を乗り越えていきましょう。

# 8月臨時議会・9月議会 採決一覧表

賛成：○ 反対：● 討論有：※

区分	ページ	議案番号	審議結果	議案一覧	松本	青木	山田	池田	兒玉	日高	児玉	松浦	橋本	討論
					俊二	實	由美子	和昭	千歳	憲治	信	光宏	由里	
条例	7	41号	可決	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		42号	可決	綾町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
		43号	可決	綾町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
予算	8	12 40号	可決	令和2年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		44号	可決	令和2年度綾町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
		45号	可決	令和2年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		46号	可決	令和2年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		47号	可決	令和2年度綾町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		48号	可決	令和2年度綾町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		49号	可決	令和2年度綾町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他	10	50号	可決	令和2年度綾町浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	※	
		51号	可決	令和元年度綾町水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○		
認定	4/6	10 1号	可決	令和元年度綾町一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	● ※	
		2号	可決	令和元年度綾町国民健康保険特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	● ※	
		3号	可決	令和元年度綾町後期高齢者医療特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	● ※	
		4号	可決	令和元年度綾町介護保険特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	● ※	
		5号	可決	令和元年度綾町農業集落排水事業特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○		
		6号	可決	令和元年度綾町公共下水道事業特別会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	● ※	
		7号	可決	令和元年度綾町浄化槽事業特別会計決算	○	●	○	○	○	○	○	○		
		8号	可決	令和元年度綾町水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	● ※	
人事	10	諮問1号	可決	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○		
意見書	11	3号	可決	新型コロナウイルス感染症対策の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○		
		4号	可決	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	○		
		5号	可決	綾北川小田爪橋及び小田爪左岸の整備を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○		
陳情	12	1号	採択	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請について	○	○	○	○	○	○	○	○		
		2号	不採択	地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する陳情書	●	●	○	●	●	○	○	○	※	
		3号	採択	綾北川小田爪橋及び小田爪左岸の整備を求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○		

# ここが聞きたい 一般質問(要約) 9月14日~9月15日

町行政の基本的な考え方や、問題点を議員が町長等に聞いた後一般質問は6名が質問しました。ご質問等は各議員にご連絡ください。

議=議員 町=町長 副=副町長 教=教育長 課=課長



松浦議員

## 産業活性化協会宿泊施設、キャンプ受入どうなるか

### 新型コロナ対応

議 産業活性化協会の宿泊施設はコロナの影響もあり、売上が落ちているが、対策はあるのか伺う。

町 宿泊3施設については新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、昨年度2月末から年度末での3施設で、約3,200万円を超えるキャンセルを昨年度決算で上げ、厳しい数字となった。新年度になり、4月から8月の160件のキャンセルは、4,700万円相当の金額で、大きく経営を圧迫している。今後の予約状況を見ても非常に厳しい。宿泊3施設のうち、綾川荘とふれあい合宿センターについては11月まで休館とした。2つの施設の予約分は、「てるはの森の宿」で引き受け、運営していく予定である。綾川荘については風呂の漏水工事に着手する。ただ休館でなく営業再開に向け、しっかり取り組みたい。

議 綾川荘の漏水工事を行うということだが、他に補修が必要な茅葺屋根、旧館の老朽化についてはどうするのか伺う。

町 施設の老朽化により補修が必要な箇所が多々あるが、緊急を要するお風呂の漏水工事に加え、式部屋敷の茅葺屋根のふき替えが大きなものとなる。綾川荘を含めた産業活性化協会施設の指定管理の契約が今年度いっぱい期限を迎える。来年度以降の運営事業者を公募し、指定管理者の選定を行いたい。

議 宿泊3施設を今後民間で運営していくことも考えられるのか伺う。

町 昨年度活性化協会の決算で宿泊3施設だけを見ると、委託料が8,428万円に対して、利用料は3,822万6,000円で、4,600万円以上の金額を一般財源から持ち出している。平成29年度から令和元年度までの3カ年平均を取っても同じような状況である。新たな指定管理者の公募について協議を進めている。今までの募集要項の申込資格の要件「綾町に事業所を有するか、事業所を設置しようとする団体であること」を見直し、広く公募することを検討している。現在の予定では10月に公募を開

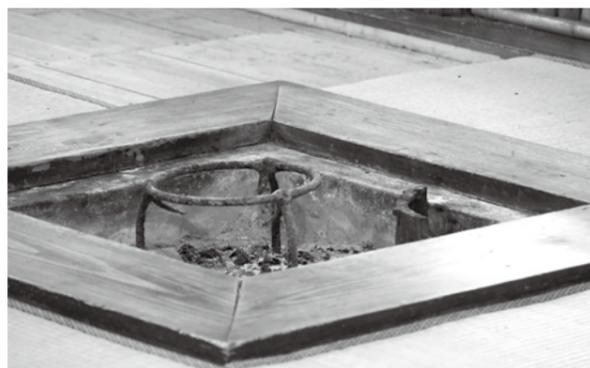
始し、11月中に業者を選定、12月議会に提案する予定である。

議 指定管理者募集にあたり、こういった経営方法を行い、どう立て直しをされるのか、現在の従業員の方はどうなるのか等、十分検討し、相手のこともよく調べ、選定を行うよう求める。

町 現在の従業員の雇用継続は条件とする。

議 酒泉の杜の宿泊施設を利用していた川崎フロンターレ、ホンダFC、パナソニックパンサーズは、今後綾町でキャンプを行っていくのか、宿泊施設はどうするのか、話し合いが進んでいるのか伺う。

町 酒泉の杜の大幅な事業縮小に伴い、指摘のとおり宿泊先がなくなった。チームを訪問し、事情を説明する予定だったが、大雨災害、コロナウイルス第2波のため、各チームとオンラインで連絡を取った。パナソニックパンサーズは今の段階では地元で調整を続ける。ホンダFCは綾町でのキャンプを続けるか、キャンプそのものを取りやめるかの選択を迫られているようである。川崎フロンターレは、今回の事情を説明済みであり、引き続き連絡を取り、町の宿泊施設でキャンプを実施してもらうよう要請したい。



綾川荘式部屋敷



橋本議員

## コロナ感染者への具体策示さず

議 PCR検査は積極的に取り組みをして感染を防止すべき。町長は6月議会で、町内医療機関でも検査可能と答弁した。

町 県は行政検査としての実施で、感染確認の検査は受けられない。保険適用検査も調査委託契約をしている医療機関のみで可能。自由診療は宮崎市の1医療機関のみの実施。検査が必要な人への実施は県に働きかける。議 医療や福祉施設で働いている人は休日の外出も控えている。PCR検査を定期的に受けられる環境を作るべき。

町 県内でのPCR検査件数は1日20万件で、綾町の人口に置き換えれば0だ。陰性でも安心できない。統計学的に見れば、PCR検査を受けることと感染減とは因果関係がない。PCR検査で感染が抑制されることは決してない。検査を受けるより感染しない努力をすべき。

議 各支援施策の進捗状況報告を。

町 社協が窓口の「緊急小口融資」は8月末現在、30件520万円。さらなる「追加支援」が18件990万円。さらに「総合支援資金2」の申請や相談もある。

課 給付金は3,242世帯中3,238世帯が給付(99.88%)済み、7億2,210万円。不要3世帯、不明1世帯。国保税減免10件。

課 飲食店事業継続激励給付金は45件(1件10万円)、飲食店応援商品券(町民1人2,000円)7,219人、町内事業所継続激励給付金(1件10万円)10件、失業支援給付金(1件10万円)6件、休業要請等給付金25件430万円支給。

課 子育て支援給付金は対象が596世帯中574世帯支給済み。

課 高収益作物次期作支援給付金は170経営体の受付済み。年末までに現地確認のうえ支給予定。

議 町税等の滞納を支給条件としているものは何か。

課 福祉、農林、産業、観光ではない。

議 町単独の飲食店への給付は持続化給付金受領と紐付けがないのに、事業所継続激励給付金は、紐付けしている理由は何か。

町 飲食店は最優先で10万円の給付を決めたため、持続化給付金とはリンクさせなかった。

議 物づくりの給付金はなぜ、持続化給付金給付金とリンクをさせるのか伺っている。

町 県や国の支援は50%以上の収入減が条件だった。それ以下の20%から50%の収入減の事業所を支援した。

議 飲食店はすべて対象にしたのに他の事業所は、持続化給付金とリンクさせ収入減の条件を付けた理由を明らかにすべき。

### 少人数学級の必要性大

議 少人数学級の必要性が増している。綾町でできる手立てを取り、国にも要請すべき。

町 綾の現状として、小4年の1クラスのみ31人であるとは30人以下だ。中学校は30人から34人でおおむね良い環境だ。国県の動向も注視しながら検討していく。

教 コロナ感染を考慮し、理想に近づけるのが望ましい。教育再生会議でも同様の考えが示され、近い将来実現も可能かと思う。

### 学生への支援急げ!

議 大学生、専門学校生への支援が全体の3割の見込みだ。後期授業料の払込み時期でもある。アルバイトもなく在宅で電気代もかさむ。支援を拡充すべき。

町 今後の要望を見ながら、どこまで支援できるか考えたい。施策、アイデアを出し真剣に考えていく。

教 他市町村の支援状況を見て3割とした。申請が多ければ対応の努力をする。

### 熱中症対策

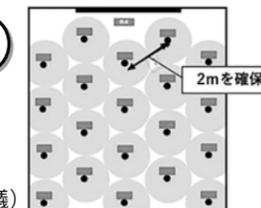
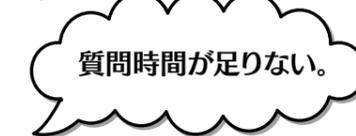
議 猛暑とコロナ禍での熱中症予防は重要。生活保護世帯のエアコン設置は、受給開始時期で区別されている。

課 知っている。今後調査をし、県とも協議する。

町 そのような事情は初めて知った。

他に水道料軽減、介護保険料や後期高齢者保険料減免、学校給食費軽減、重度障がい者医療費、防災、地域公共交通会議、まちづくり専門家招へい事業について質問した。

つぶやき



少人数学級 (出典:教育再生実行会議)



松本議員

## 中身が伴った「町民が真ん中」の町政を!!

### 新型コロナウイルス対策について

**議** 町内で感染者が出た場合、町民の不安や偏見や差別の拡大を防ぐためには適切な情報開示等の対応が必要だと考えるが、先般の役場職員の不祥事への対応を見ると極めて不安だ。本当に大丈夫か？

**町** 綾町で感染者を出さないことが最も重要。県の指示に基づき連携して各種対応を行う。情報については、適切にコントロールする。

**議** 感染拡大に落ち着きが見られる前の9月1日に100円バス事業を見切り発車した。不特定多数が利用するバスを高齢者が利用することになるが、宮崎交通と具体的なコロナ感染防止策について確認したのか？

**町** 感染拡大に十分注意するという共通認識は持っている。

**議** 宮崎交通の社員に確認したが、運転手の交代時に社内消毒をする以外は特段の防止策は行っていないとの回答あり。せめて綾路線だけでも、乗降口に消毒液を設置する等の対策を申し入れてほしい。

**町** 細かい配慮が必要だと考える。宮崎交通に協力をお願いする。

**議** 飲食店以外で利用できるプレミアム付商品券が売れ残っている。もっと現場に足を運び状況を把握すべきであり、しっかりと情報収集と分析を実施した上での確な対策を打ってほしい。

**町** 利用店舗や業種が広がれば一気に購入者が増えると考えていた。

**議** コロナ禍において、国や県には判断する際の指針の明確化を求めているが、町民には特に指針を示すことなくほとんどの行事を中止している。何らかの指針や基準を示すべき。

**町** 綾町は人口7千人程度のコンパクトな町なので、町民一人一人の状況が把握しやすい。そういう中で行事の中止は判断していく。工夫をすればできるものもある。

### 二代表制への認識と議会対応について

**議** 町長就任以来、議会を無視または軽視した対応が続いている。特に全議員が賛成した附帯決議への不誠実な対応は、はなはだ遺憾。お互いが町民の

代表として謙虚かつ誠実な姿勢で町政に取り組むべきと考える。

**町** 議会を無視・軽視したつもりはない。議員の皆さんが町民の意見を隅々まで聞いているのか疑問に思っている。

### 「町民が真ん中」「行政の信頼回復」「財政の健全化」への取り組みと成果について

**議** 言葉だけが先行して、具体的な方針や取り組み、成果が一向に見えてこない。一方で、総合基金問題をはじめ過去の事案について不毛な議論を延々と続けているだけで、結論を出せない状況である。綾町の未来に向けた「戦略的まちづくり」について建設的かつ具体的な議論をすべきだと考えるが。

**町** 掲げた政策については、一步一步進めている状況。自身の情報発信不足は反省している。町内外へ積極的に発信していく。

### 自治公民館制度について

**議** 郷田元町長が1965年に創った自治公民館制度は、絆社会の形成及び綾町の活力源として貢献してきた。まさに綾町の基盤といえる。原点に立ち返り改革していく必要がある。

**町** 綾町ならではの誇れる制度である。現状、加入率低下や担う役割、報酬など様々な課題もある。その解決やさらなる活性化に向けて、移住してきた人の意見も聞きながら検討していく。

つぶやき

的外れな答弁が多い。



2代表制

麓公民館



兒玉千歳議員

## 綾町育英会事業

**議** 今年度町は支出なし(昨年度一般会員約49万円、篤志寄付22万円、企業寄付2社で35万円、個人寄付2名で約40万円、特別会員0円)。今年度の一般会員会費の徴収はどうする。

**町** 育英会規約第4条で「資金の調達は会費(1口500円)、篤志寄付、町補助金を持って充てる」とある。一般企業はコロナの影響を考慮し徴収を見送った。

**議** 今年度、特別会費も町補助金も0円だ。一般会費と篤志寄付のみで運営するのか。

**教** 支給額は決まっている。増額も含め検討する。

**議** 町が一銭も出さないことは町民も知っている。その上で年金生活者も出してくれている。節約しながら学び、暮らしている学生を支援できていない。真剣に取り組むべき。

**町** 学生、保護者ともコロナ禍で大変苦労している。臨時交付金を活用し補助するが、育英資金だけでなく町として支援できる方法を検討したい。

**議** 町出身の学生数が把握できていないのでは。

**町** 就学生の数の把握は十分可能だ。

**議** 交付金を活用した大学生、専門学校生への給付金は町内から通学する学生も対象か。

**課** 対象にしたい。

### 災害避難 公民館長の要望に答えているか

**議** 各公民館からの要望は把握しているのか。

**町** 一時避難所に馬事公苑の利用要望があり、追加した。

**議** 災害現場に出向くと悲惨だ。被害者は皆、常識を超える被害だったと訴える。綾町でも想定外のことへの対応を検討すべき。7月6日早朝の雨量は把握しているか。

**課** 手元に資料がないので後に報告する。

**議** 庁舎屋上の雨量計の数値は町民にも報告すべきである。台風や集中豪雨は事前に対策が取れるが地震はそれができない。町内には8カ所の橋がある。被害が出れば対岸の町民は孤立する。定期的に地域の実情に合う避難訓練の実施が必要。

**町** 災害時の行動指針になるので前向きに考えたい。

**教** 学校現場も常に避難訓練をしている。

**議** 幼・保・小・中学校も目的をもった訓練を実施しているのに、大人がなぜできないか。早めの実施を求める。

### 避難所での性同一性障がい者等の対策は

**議** 女性を含め障がい者や性同一性障がい者の方々のトイレ等の問題、アレルギー体質への対応も重要。

**町** 性的マイノリティーへの配慮に欠ける。アレルギー対策は事前に把握できるよう検討している。

**課** 避難者カードを設け、障がい、アレルギーの有無を確認できるよう取り組む。

**議** チェック体制は重要である。避難所運営等は県の講師無料派遣制度を利用して、公民館長の負担軽減に努めるべき。

### AEDの設置が十分でない。対策は。

**議** AEDを使う手順を指導すべき。

**町** 各公民館に貸出用AEDはない。今後把握して対応したい。

**議** 地域ごと、避難所ごとの手順でしっかりと明記すべき。

### 避難所の夜間照明について

**議** メイン照明を消すと真っ暗になる。安全性やプライバシーを守るためにもサブ照明が必要と思う。

**町** コロナ対策の交付金を有効に使い、各公民館に備えたい。

### 高齢者の生活環境改善に、支援の必要な町民にタクシー券を

**議** 年齢、地域を外して必要な町民にタクシー券を配布すべき。循環バスは24時間対応でない。

**町** 地域に合った対応を実施したい。ハンディキャップの有無や精神的事情、家庭の事情も含めて、必要な人まで救えるよう検討したい。

**議** ぜひ、検討できる体制を望む。

### 駐車スペースの増設とパイプ型屋根の設置を!

**議** 庁舎玄関前に妊婦や乳幼児世帯専用駐車スペースの確保とパイプ型屋根の設置はできないか。

**町** 庁舎玄関の利用などを含め検討したい。気付かないこともある。提案に対して検討したい。

**議** 福祉の町を目指して、綾が先頭を切って重点的に取り組んで欲しい。

つぶやき

あやはよい〜か♪  
すみよい〜か♪



役場庁舎前に駐車スペースを



山田議員

## コロナの影響

議 各課における新型コロナウイルスの影響は。

課 来年度の個人町民税、法人町民税に影響が出てくると予想する。

課 乳幼児検診、特定健康診査は中止・代替で予定している。保育所行事や敬老会、高齢者運動教室など全ての世代の行事が中止または縮小で多大な影響である。

課 お客様を相手にした業種が大きく影響を受けている。事業が継続できるように、また、雇用が確保できるように、それぞれの事業所と連絡を密に取りながら取り組んでいく。

課 卒業式、入学式は規模を縮小して行った。中学校の体育大会は午前中で終わらせた。また、臨時休業での授業時数の減少で子どもの学びを止めない学習の進め方、学校行事の調整、マスクや手指消毒用アルコール、非接触型体温計の不足といった課題があげられる。今後、感染が確認された児童生徒、保護者及び教職員の人權に十分に配慮した対応方針が必要である。

課 錦原サッカー場、野球場、町体育館、武道館、てるはドームなどの社会体育施設や公民館、図書館、文化ホールなどの社会教育施設を閉館、または利用制限をした。これに伴い、てるはカップ柔道大会やプーマ杯高校サッカーフェスティバルを中止。春いっぱいコンサート、小学校の登館日は中止。綾ふるさと夏祭りは神事のみ行われた。1月から7月までを前年と比べると、団体数321件の減、使用料163万円ほどの歳入減。

課 インバウンド消費の減少や輸出の停止、宿泊・飲食業の営業不振、国際的サプライチェーンの寸断等により大きく影響を受けている。肉用牛は繁殖、肥育ともに3月から7月にかけて販売額3,000万円、率にして前年比で15%から20%の減収。養鶏は単価、数量ともに下落しており、販売額で約300万円、率にして30%を超える減収。養殖業は、5月から8月にかけて需要の減少より、養殖魚の滞留が発生し、その期間の餌代負担が生じている。林業は、需要減退により木材価格の下落と、市場への出荷調整が行われる中、住宅着工件数の回復見込みも不透明で、影響は長引くと思われる。

### 今後の展望は

議 アフターコロナにおける綾町の目玉は。

町 現在、未曾有の危機に瀕しているが、まちが持続できるように、県や国に対して支援を要請する。新しい生活様式の中、豊かな自然環境や食の安全を掲げて、しっかり足元を見詰めて乗り切り、みんなが伸び伸び、生き生きとできる町政を進める。

課 ふるさと納税額が8月末、累計で3,000万円ほど、昨年を上回っている。貴重な財源であるので伸ばしていきたい。

課 健康増進、免疫力を上げるという意味で栄養価の高い有機野菜の需要が高まっている。安心、安全な野菜をPRし、アフターコロナの時代、有機JAS認定農家の仲間を増やしていく。

### 各イベント事業、補助金の廃止は。

議 ほとんどすべてのイベントが中止となった。精査、検討のよい機会ではないか。

町 これまでトップダウンであったが、これからは若い人たち、民主団体などが自らで企画した新しい動きに対し、町のほうも補助、支援をしていく体制が必要と考える。

### 綾町活性化協会の今後は。

町 宿泊3施設とその他4施設を分けて考える。まずは宿泊3施設一緒に指定管理者を公募する。

議 赤字経営が続く原因は。

町 毎年5,000万円～6,000万円を活性化協会に出している。経営の感覚がなかった。損得を考えていなかった。

他にAYA SCOREの進捗状況について質問した。

つぶやき

どうなる活性化協会



綾城



青木議員

## 綾川荘の現場の声を

議 綾川荘、合宿センターの3カ月休業の理由は。

町 宿泊3施設で8千万円のキャンセルが発生。さらに9月～11月は客が減り5千万円の持ち出しを想定。休業することで持ち出しが1,400万円になる。現場に説明もした。

議 現場としては突然の話だ。JTB対応、商品開発、県や市への営業、HPの刷新等努力していた。支配人はホテル運営のプロで、この時期は開けるべきだという。町長や担当課長は現場に来ないため、知らないのだと言っている。綾川荘は崩壊状態から出発し、客を呼べるころにコロナが発生した。

町 情けでなく数字だ。国の交付金を活用して対応する。

議 JTBからクルーズ船の問合せもあった。綾川荘へのアンケート結果は好評で大きな赤字にはならないと自信を持って言える。根拠となる数字も提出した。

課 資料を見たが収入が大きく減っている。

町 資料は何も根拠がない。営業すれば大きな影響が出る。

議 町長の判断は過去に捉われ、未来に目を向けていない。町長の予測は当てにできるのか。

町 決算、稼働率、予約状況を確認した。

議 休業理由はコロナか、メンテナンスか赤字の心配か。公にはメンテナンスにして国にはコロナを理由に申請するのか。

町 国の交付金をあてられる。

議 町長は現場無視の独断専行だ。綾川荘の私物化だ。アルバイトへの休業補償が0から8割補償と変わった理由は。

町 アルバイトは一時的な仕事だが、国から出るとわかったので出す。

議 アルバイトで生計を立てている人もいる。「町民がまん中、大家族主義」と公約した。真逆で情もなく冷たい心だ。

### こち風について

議 「内容は間違いでない。弁護士と相談中」と言っていたがどう回答したか。

町 法に触れるか否かの判断ができない。時間とパワーが必要。今は総合基金に集中している。

議 福永氏に「役場としては何もしない。やるなら、裁判費用を払い個人でやれ」と回答したと聞いた。権力の座に就くとも変わるものか。

### 旧総合基金について

議 信頼した3人目の弁護士の回答はどうか。理事会から裁判はやめてほしいと聞いた。町は基金から手を引くべき。

町 4人目が変わった。いろいろな意見を聞いた返金問題が片付けば手を引く。

### 農業支援センター

議 地域商社の青写真はできたのか。

町 支援センターの商販部をリンクさせる。生産部門は継続が難しい。

### 教育行政 教育長について

議 教育長の職務専念はできているのか。

教 県サッカー協会の理事になったが、町長、議長に報告し、教育委員会の承認も得た。

町 聞いていない。偽りだ。

議 教育長罷免について「県教育委員会の見解(罷免に値しない)」が、議会に提出されたが、県の法規担当者は、全くかかわっていないと言っている。議会が愚弄され、うそをつかれた。

教 県のみでの回答ではなく、いろいろな人の見解を総合した。

町 初めて聞いた。

議 県教育庁義務教育課は町長が了承すれば学力テストの結果公表はできると言った。

教 国の指導でできない。

町 情報公開する。

議 罷免の再提出はあるのか。パワハラも県は認めた。

町 再提出を検討する。

### 保育所民営化

議 突然の話。資料を要求する。

町 資料はない。令和4年を目途に民営化する。

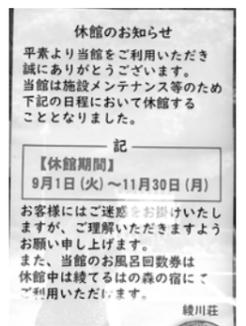
### 役場職員の処分

議 名前を公表すべき。

町 公表はしない。

つぶやき

不条理なやり方に冷静になれず



綾川荘休館

## 表紙について

8月31日、中坪保育園の園児を対象とした「鮎のつかみ取り」が行われました。

この日は綾漁協の方々が生徒となり、プールに放された鮎のつかみ取りにチャレンジ。その後、鮎の塩焼きをおいしくいただきました。

※9月1日にも南俣保育所の園児を対象に実施しました。

暑い中、綾漁協のみなさま、ありがとうございました。



### 議会日誌

#### 議会報編集委員会

10月 5日、10月12日

10月14日、10月15日

### 12月議会のお知らせ

12月議会は12月上旬の開催を予定しています。

日程が決まりましたら、ホームページ等でお知らせします。

### 編集後記

令和2年度産の米の収穫が始まり、収穫予定数量は例年なみの予想。また、令和元年度の町の決算が9月議会で認定され、一般会計は1億2,715万円の実質収支額でした。今年は新型コロナウイルスの世界的な流行が町民の生活面、経済面、町の事業等々にも大きな打撃を与えています。

幸い綾町では感染者が出ていません。これはひとえに勇気ある町民のみなさまの協力のお陰だと感謝しております。議会も役場も、町民が一日も早く普通の生活に戻れるように努力して参ります。

新型コロナウイルスの見通しははっきりしていませんが、三密を避け「オール綾」「チーム綾」で一致団結してコロナを吹き飛ばしましょう。

**見せましょう。綾魂を!!**

議会報広報委員会一同

発行／宮崎県綾町議会

宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 515 TEL：(0985) 77-2947

発行責任者／綾町議会議長 日高幸一

議会報編集委員会／委員長：兒玉千歳 副委員長：橋本由里

委員：松本俊二、青木寛、山田由美子、池田和昭